2027年3月期 第2四半期
決算説明会

2026年11月25日

証券コード 5161

西川ゴム工業株式会社
NISHIKAWA RUBBER CO., LTD.

目次

1 会社概要

2 2027年3月期 第2四半期 決算概要

3 2027年3月期　業績/配当予想

4 2030年 グローバル中長期経営計画への取り組み

5 Appendix

Copyright© NISHIKAWA RUBBER CO.,LTD. All Right Reserved.

1

会社概要



Copyright© NISHIKAWA RUBBER CO.,LTD. All Right Reserved.

会社概要

商　　号	西川ゴム工業株式会社 (NISHIKAWA RUBBER CO., LTD.)
本　　社	広島県広島市西区三篠町二丁目2番8号
創　立 年 月 日	• 1934年12月1日 西川護謨工業所として創立 • 1949年4月26日 株式会社に組織変更 商号を西川ゴム工業株式会社に改称
代　　表	代表取締役社長　社長執行役員　小川秀樹
資 本 金	3,364,480,660円
市場区分	東証スタンダード市場 （証券コード 5161）
従業員数 （連結）	6,294名（2026年3月末時点）
事業内容	自動車用シール材および 一般産業資材製品の設計・開発、製造、販売

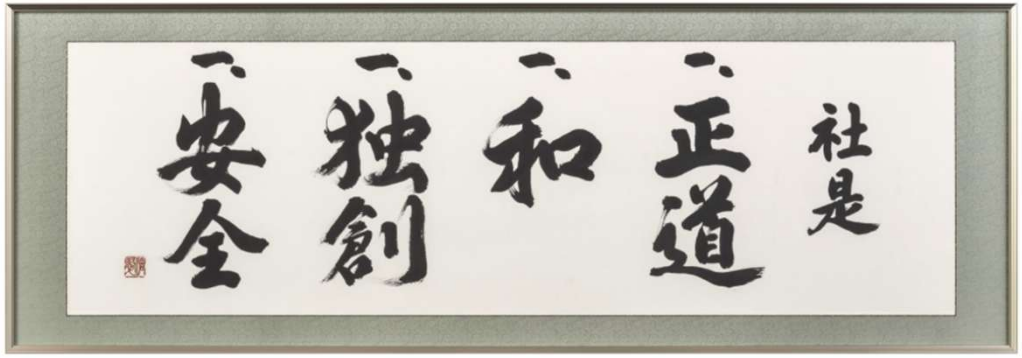
拠点一覧



1. NISHIKAWA COOPER LLC（米国）
2. Nishikawa of America, Inc.（米国）
3. Nishikawa Tachaplalert Cooper Ltd.（タイ）
4. 上海西川密封件有限公司（中国）
5. 広州西川密封件有限公司（中国）
6. 西川橡胶(上海)有限公司（中国）
7. 湖北西川密封系統有限公司（中国）
8. NISHIKAWA SEALING SYSTEMS MEXICO S.A. DE C.V.（メキシコ）
9. PT. NISHIKAWA KARYA INDONESIA（インドネシア）
10. NISHIKAWA RUBBER CO.,LTD. Europe Branch（英国）
11. NISHIKAWA RUBBER CO.,LTD. GERMANY BRANCH（ドイツ）
12. ALP NISHIKAWA CO., PVT. LTD.（インド）※持分法適用会社

Copyright© NISHIKAWA RUBBER CO.,LTD. All Right Reserved.

社是



正道

我々は　常に正道に立って社業を運営し
会社の真の発展は社会の福祉　世界の進運に
寄与しうるものでなければならない

独創

我々は　企業の生命が独創と意気にあることを認知して
自らの仕事に誇りと責任を持ち
また反面事を処するに当っては　謙虚な気持でこれに向わねばならない

和

我々は　共に会社の根幹であることを認識して
「和の心」をもって相寄り相助け
互いに善意と良識をもって一致協力することが　何より大切である

安全

我々は　各個人の幸福が　会社全体の繁栄を基盤にして
初めてきずかれることを知りすべて会社の組織を重んじ
規律に従い冗費を省き　災害防止に万全を期し
もって堅実にしてまじめな
また自由にして秩序正しい社風を培ってゆくことが必要である

Copyright© NISHIKAWA RUBBER CO.,LTD. All Right Reserved.

経営理念

ニーチェの言葉

己の立てる所を深く掘れ
そこに必ず泉あらん



Friedrich Nietzsche.

Copyright© NISHIKAWA RUBBER CO.,LTD. All Right Reserved.

主要製品/取引先

自動車用部品事業

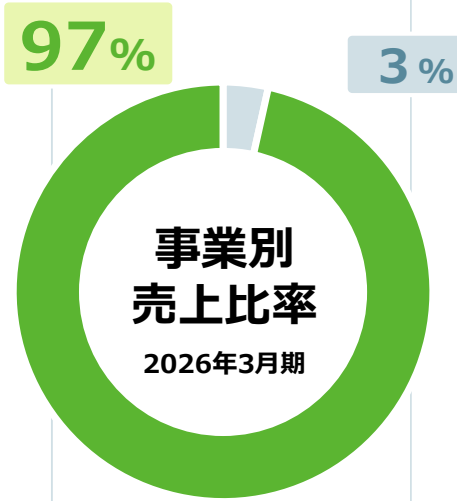
自動車のドアシール製品分野
業界国内トップシェア
（当社調べ）


ドアアウターシール


ドアアウターシール
（オープンカー用）


グラスランチャンネル


コンバーチブルヘッダー
（オープンカー用）



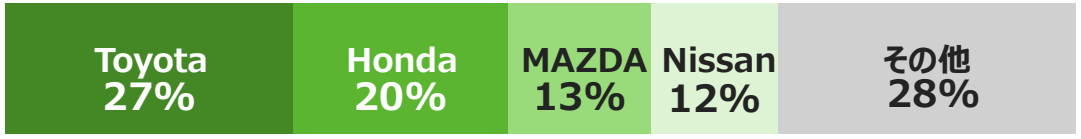
一般産業資材事業

自動車用部品事業で培った
発泡技術を様々な分野で展開


目地ガスケット


化粧用パフ

取引先別売上比率
（2026年3月期実績）



Copyright© NISHIKAWA RUBBER CO.,LTD. All Right Reserved.

業界でのポジション

独立系サプライヤーとして培った技術力で、グローバルニッチトップ企業へ

国内

日本車への当社製品装着シェア率

46%

（2026年3月期実績 当社調べ）



海外

日系自動車メーカーを中心に売上を拡大

日本車装着シェア率

- 北　米 37%
- 東アジア 29%
- 東南アジア 38%

※シェア率は、日本車の内、当社製品が装着されている割合を示す（2026年3月期実績　当社調べ）



Copyright© NISHIKAWA RUBBER CO.,LTD. All Right Reserved.

2

2027年3月期 第2四半期
決算概要



Copyright© NISHIKAWA RUBBER CO.,LTD. All Right Reserved.

2027年3月期 第2四半期 決算の総括

1. 第2四半期業績の評価

- 売上高・営業利益・経常利益は前年同期比で増収増益
- 親会社株主に帰属する中間純利益は、前年同期に過年度法人税等の還付があったため、前年同期比で減益
- 日本におけるモデルチェンジに伴う受注増加や円安による押上げ効果が、メキシコ・中国・タイにおける日系自動車メーカーの減産影響を補完
- 継続的な生産合理化とメキシコ子会社の原価改善等による収益性向上が増益を下支え

2. 今後の見通し

- 下期の中国およびタイにおける主要顧客の需要動向を慎重に見込むとともに、原材料価格の高騰等を織り込み通期連結業績予想を修正
- 当社の最適な自己資本比率を55%と定め、連結の株主資本配当率（DOE）を年間8%程度とする配当方針に基づき、中間配当は直近の配当予想から1円増配し、1株当たり93円に決定
- 期末配当予想も1円増配して1株当たり93円とし、2027年3月期の年間配当金は1株当たり186円の見込み

Copyright© NISHIKAWA RUBBER CO.,LTD. All Right Reserved.

2027年3月期 第2四半期 決算ハイライト

- 売上高は日本におけるモデルチェンジによる受注増加および円安が寄与し、増収
- 営業利益は生産合理化活動の継続に加え、メキシコ子会社の原価改善や円安が寄与し増益
- 経常利益は受取配当金の増加や固定資産除却損の減少などにより、増益
- 親会社株主に帰属する中間純利益は、前年同期に過年度法人税等の還付があったため前年同期比で減益

売上高

2期ぶり増収

618億円

前年同期比 +7.8%

営業利益

2期ぶり増益

40億円

前年同期比 +1.7%

経常利益

過去最高

4期連続増益

49億円

前年同期比 +3.7%

親会社株主に帰属する中間純利益

4期ぶり減益

32億円

前年同期比 △24.8%

Copyright© NISHIKAWA RUBBER CO.,LTD. All Right Reserved.

2027年3月期 第2四半期 連結業績

売上高・営業利益・経常利益は前年同期比で増収増益
親会社株主に帰属する中間純利益は減益

（百万円）	2026年3月期 第2四半期	2027年3月期 第2四半期	増減	増減率
売上高	57,349	**61,829**	4,479	7.8%
営業利益 （営業利益率）	3,979 (6.9%)	**4,046 (6.5%)**	66	1.7%
経常利益	4,736	**4,911**	174	3.7%
親会社株主に帰属する中間純利益	4,289	**3,226**	△1,062	△24.8%
自己資本比率	2026年3月期 59.6%	**60.9%**	1.3pt	—
＜参考＞PBR	1.29倍 (2026年3月期 1.46倍)	**1.42倍**	—	—

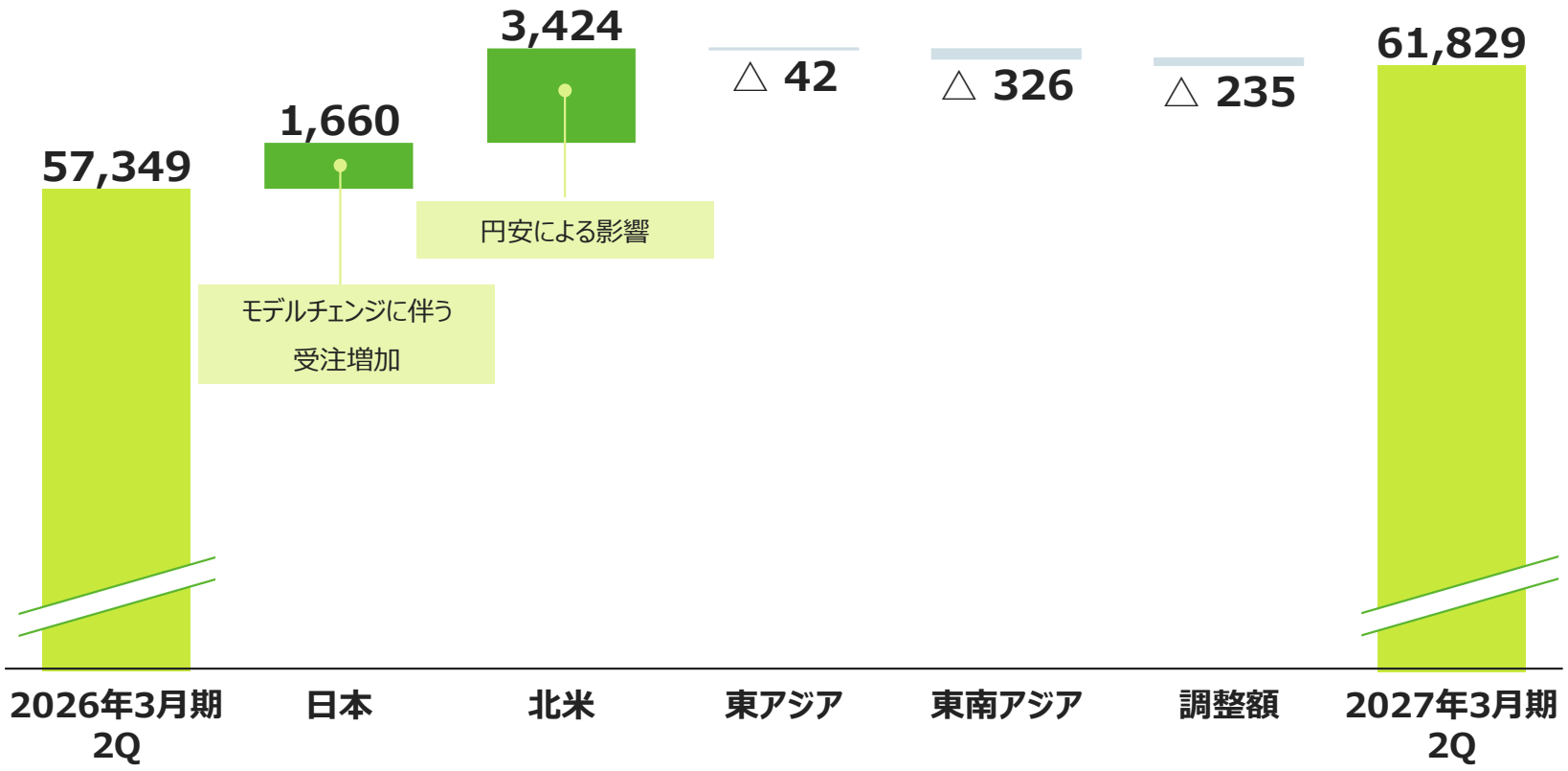
注：為替レート（対米国ドル/円）　2025年6月末 144.81円　2026年6月末 162.39円

Copyright© NISHIKAWA RUBBER CO.,LTD. All Right Reserved.

売上高の増減要因

日本セグメントでのモデルチェンジに伴う受注増加、米国ドル・メキシコペソに対し円安に推移したことが北米セグメントの売上を押上げ、前年同期比7.8%の増収

（百万円）

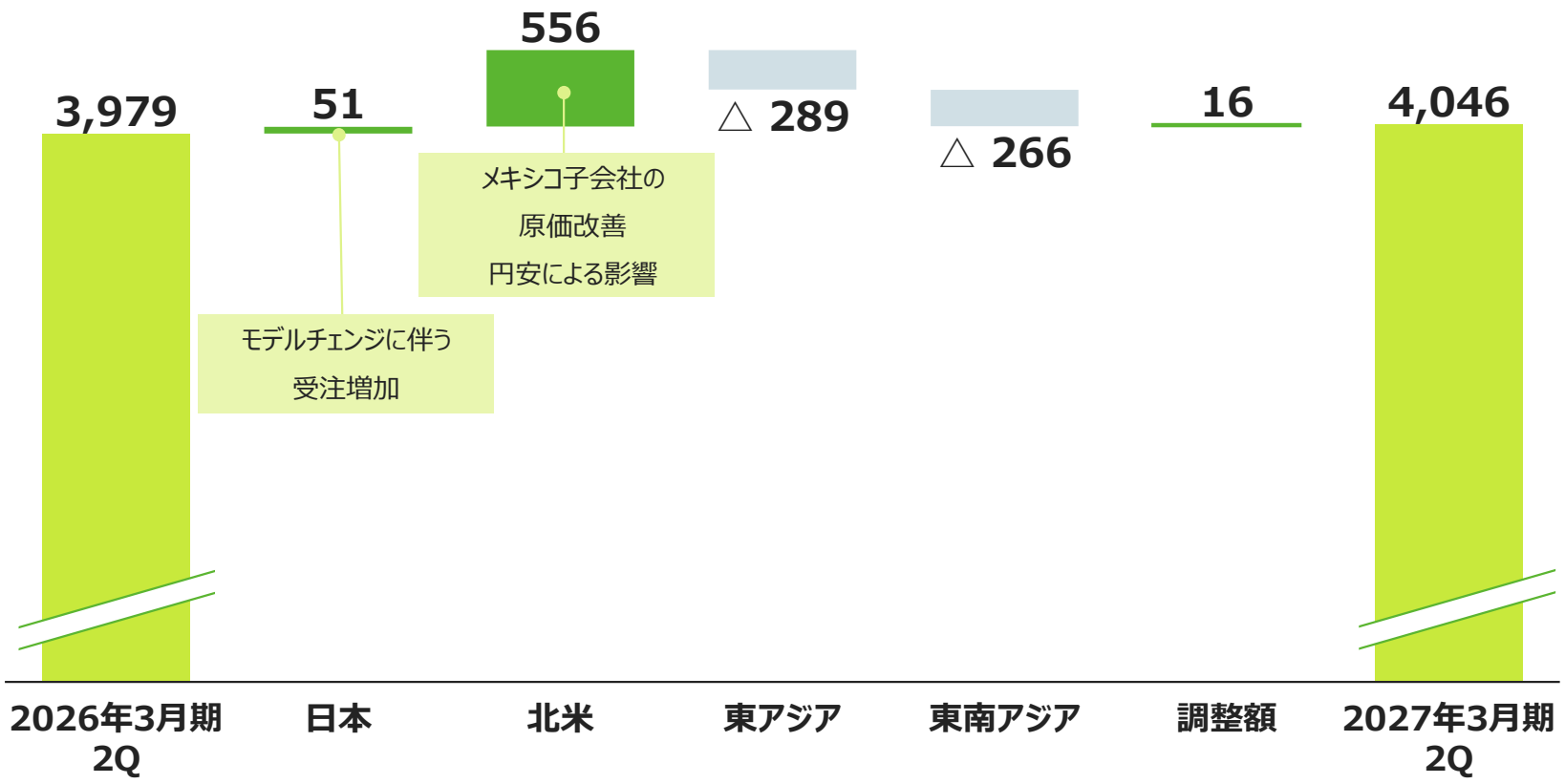


Copyright© NISHIKAWA RUBBER CO.,LTD. All Right Reserved.

営業利益の増減要因

北米セグメントのメキシコ子会社における原価改善を中心とした収益性向上に加え、円安による押上げ効果が東アジアセグメント・東南アジアセグメントの減益影響を吸収し、前年同期比で1.7%の増益

（百万円）

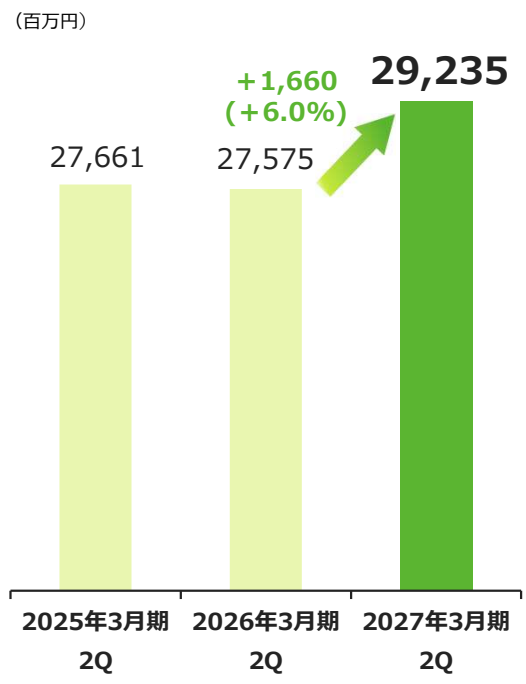


Copyright© NISHIKAWA RUBBER CO.,LTD. All Right Reserved.

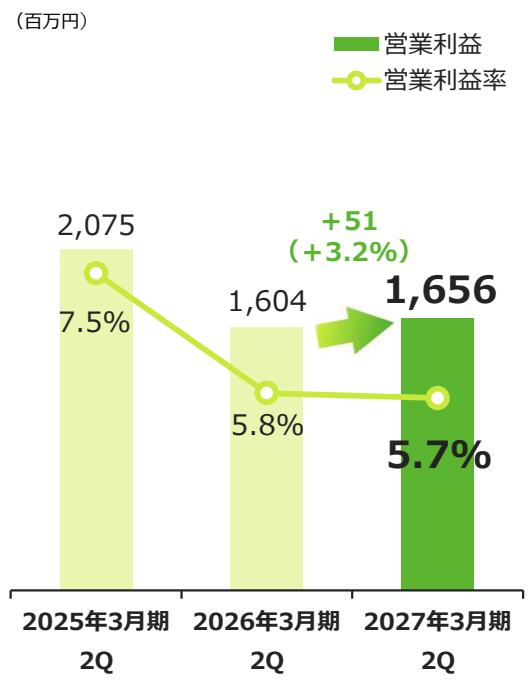
セグメント概況（日本）

売上高は1,660百万円増加し、29,235百万円
営業利益は51百万円増加し、　1,656百万円

売上高



営業利益





2027年3月期第2四半期概況

- 国内顧客のモデルチェンジに伴う受注増加に加え、高付加価値製品（新タイプのグラスランチャンネル）の採用拡大により増収増益

今後の対応

- 軽量・静音の差別化製品「ESquare®(イースクエア)」のブランド上市に向けた顧客へのプロモーションを推進
- 継続的な原価改善の推進や欧州戦略を着実に実行し、収益性のさらなる向上を目指す

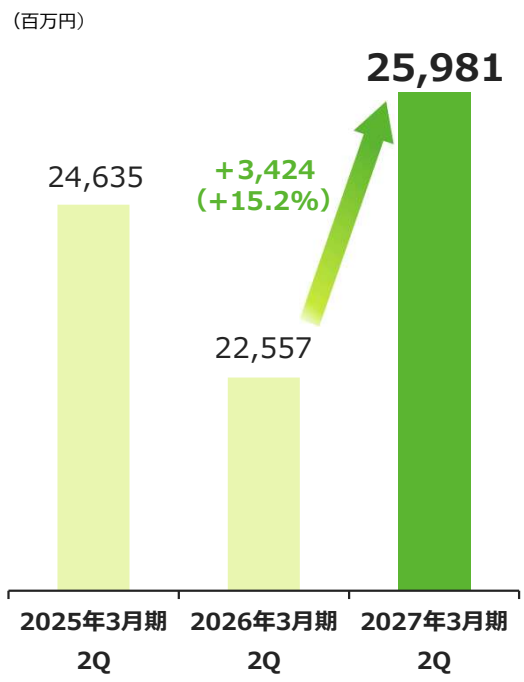
Copyright© NISHIKAWA RUBBER CO.,LTD. All Right Reserved.

セグメント概況（北米）

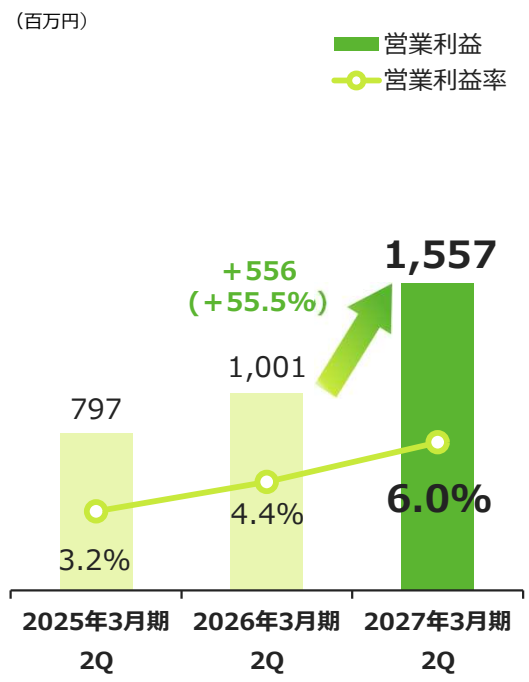


売上高は3,424百万円増加し、25,981百万円
営業利益は556百万円増加し、 1,557百万円

売上高



営業利益



2027年3月期第2四半期概況

- 米国子会社は主要顧客の生産台数増加を背景に増収、労務費等の増加があったものの原価低減活動や円安の影響により増益
- メキシコ子会社は顧客の生産台数減少があったものの、グループ会社連携による原価改善等の効果により増益

今後の対応

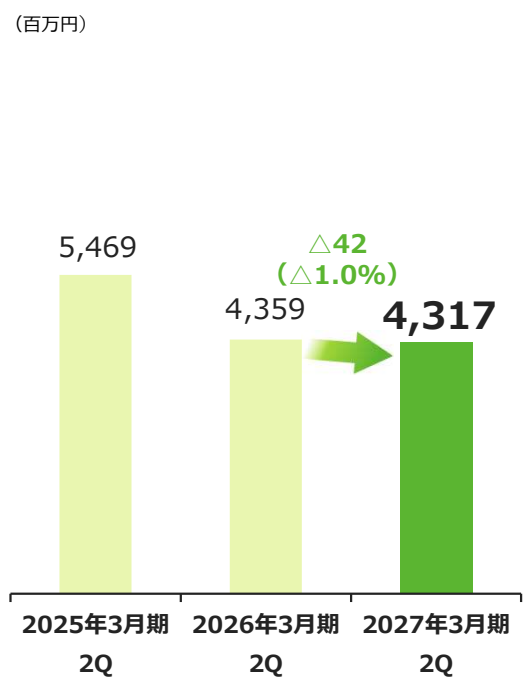
- 米国子会社の合理化投資や老朽化設備の更新の実施と日本本社からの生産改善チーム派遣
- メキシコ子会社の原価改善活動の継続

Copyright© NISHIKAWA RUBBER CO.,LTD. All Right Reserved.

セグメント概況（東アジア）

売上高は42百万円減少し、　4,317百万円
営業利益は289百万円減少し、△111百万円

売上高



営業利益



2027年3月期第2四半期概況

- 円安による押上げ効果はあったものの、日系自動車メーカーの販売低迷を背景に生産台数が減少し減収
- 固定費削減に努めたものの、操業度低下による収益悪化が影響し減益

今後の対応

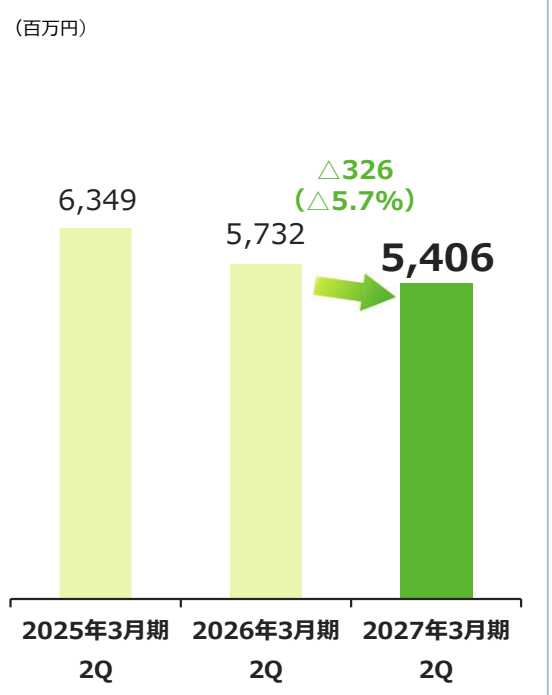
- 当社で受注した欧州自動車メーカー向け製品の量産化に対応する生産体制整備を推進
- 中国自動車メーカーへのプロモーション活動を強化し、受注増加を図る

Copyright© NISHIKAWA RUBBER CO.,LTD. All Right Reserved.

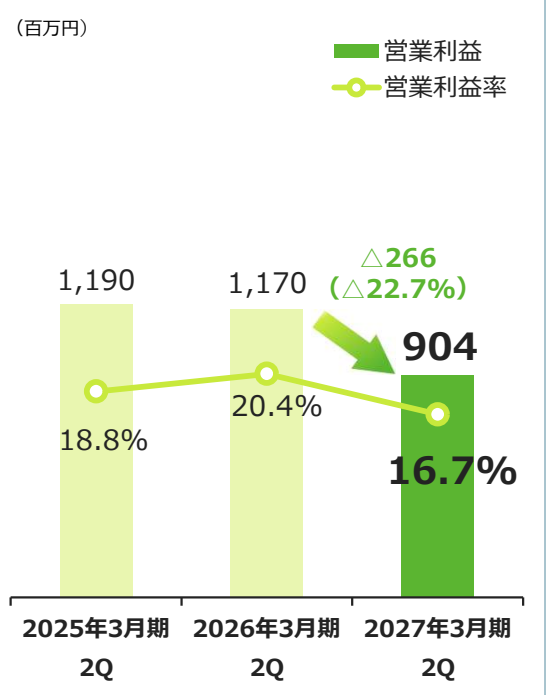
セグメント概況（東南アジア）

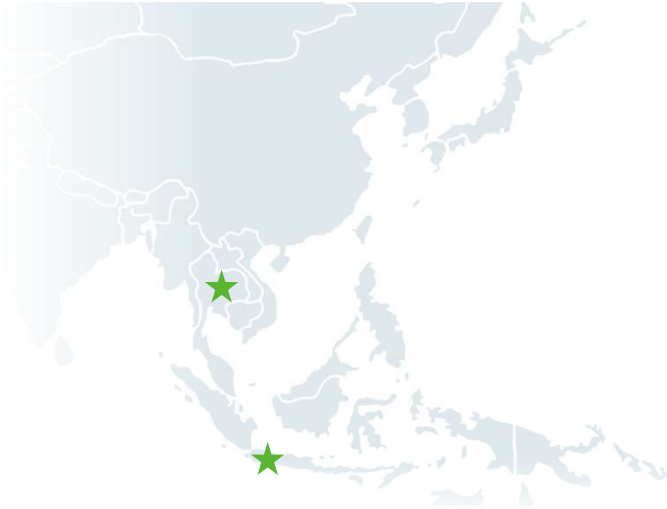
売上高は326百万円減少し、 5,406百万円
営業利益は266百万円減少し、 904百万円

売上高



営業利益





2027年3月期第2四半期概況

- インドネシア子会社にて新車種受注による増販効果があったものの、タイ子会社は競争環境の変化や主要顧客の生産台数減少の影響を受け減収
- 円安による押上げ効果があったものの、タイ子会社における減産に伴う操業度低下等の影響により減益

今後の対応

- インドネシアでの日系自動車メーカー向け樹脂製品のシェアアップによる売上拡大
- 非日系自動車メーカーへの拡販活動強化

Copyright© NISHIKAWA RUBBER CO.,LTD. All Right Reserved.

損益計算書（連結）

売上高は日本セグメントでのモデルチェンジに伴う受注増加および円安が寄与し増収
営業利益は生産合理化活動やメキシコ子会社の原価改善等により増益

（百万円）	2026年3月期 第2四半期	2027年3月期 第2四半期	増減額
売上高	**57,349**	**61,829**	4,479
売上原価	46,627	50,343	3,715
売上総利益	10,722	11,485	763
販売費及び一般管理費	6,742	7,439	697
営業利益	**3,979**	**4,046**	66
営業外収益	1,331	1,261	△70
営業外費用	574	395	△178
経常利益	**4,736**	**4,911**	174
特別利益	10	0	△9
特別損失	0	31	30
税金等調整前中間純利益	**4,746**	**4,881**	134
法人税、住民税及び事業税	853	952	98
過年度法人税等	△1,139	—	1,139
法人税等調整額	159	159	0
非支配株主に帰属する中間純利益	582	542	△39
親会社株主に帰属する中間純利益	**4,289**	**3,226**	△1,062

Copyright© NISHIKAWA RUBBER CO.,LTD. All Right Reserved.

貸借対照表（連結）

配当金・法人税等の支払いにより、現金及び預金が減少
株価上昇による投資有価証券評価額の増加等により総資産は増加

（百万円）	2026年3月期末	2027年3月期 第2四半期末	増減額
現金及び預金	51,927	47,806	△4,121
売掛債権及びその他債権	17,363	17,464	100
棚卸資産	7,874	8,862	988
有形及び無形固定資産	30,533	30,325	△207
投資有価証券	25,711	28,464	2,753
その他資産	13,958	15,595	1,637
資産合計	**147,367**	**148,518**	1,150
買掛債務	8,837	8,966	129
借入債務	24,180	23,243	△936
その他債務	22,018	21,312	△705
負債合計	**55,035**	**53,522**	△1,512
株主資本	63,342	63,301	△40
その他包括利益	24,547	27,083	2,536
非支配株主持分	4,442	4,610	167
純資産合計	**92,332**	**94,995**	2,663
負債・純資産合計	**147,367**	**148,518**	1,150

Copyright© NISHIKAWA RUBBER CO.,LTD. All Right Reserved.

2

2027年3月期 業績/配当予想



Copyright© NISHIKAWA RUBBER CO.,LTD. All Right Reserved.

2027年3月期 業績予想(2026年11月13日発表)

中国およびタイにおける主要顧客の需要動向を慎重に見込むとともに、
原材料価格の高騰等を織り込み、通期連結業績予想を修正

(百万円)	前回発表予想 (2026年5月公表)	今回修正予想	増減額	増減率	参考：前期実績 (2026年3月期)
売上高	**118,000**	**118,000**	—	—	122,138
営業利益 **（営業利益率）**	**7,500** **(6.4%)**	**6,500** **(5.5%)**	△1,000	△13.3%	9,052 (7.4%)
経常利益	**8,600**	**8,000**	△600	△7.0%	11,189
親会社株主に帰属する当期純利益	**6,500**	**5,800**	△700	△10.8%	10,960
1株当たり当期純利益（円）	**174.24**	**159.95**	—	—	293.81
1株当たり年間配当金（円）	**184**	**186**	2	1.1%	183

注：為替レート（対米国ドル/円）　2025年12月末　156.56円　　2027年3月期　想定レート 154円

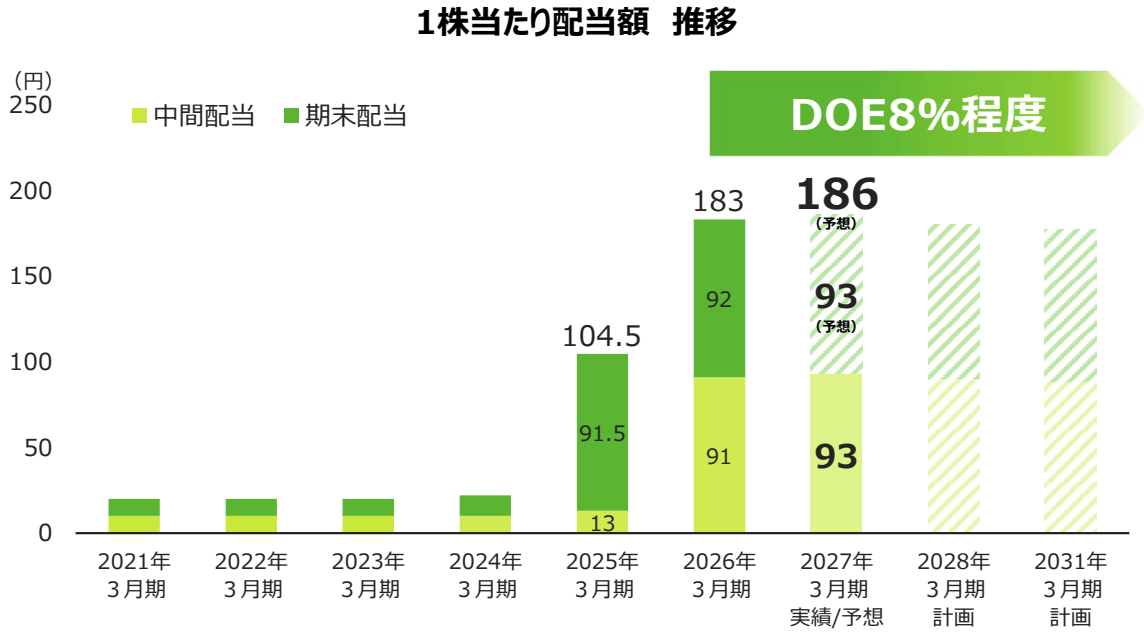
Copyright© NISHIKAWA RUBBER CO.,LTD. All Right Reserved.

2027年3月期 配当予想（2026年11月13日発表）

当社は最適な自己資本比率を55%と定め、ROE9%を目指す
連結の株主資本配当率（DOE）を年間8%程度とする方針に基づき、
中間配当は直近の配当予想から1円増配して1株当たり93円に決定

	2027年3月期 1株当たり配当額		
	中 間	期 末	合 計
前回予想	92円	92円	184円
当期実績	93円	—	—
今回予想	—	93円	186円
前期実績（2026年3月期）	91 円	92円	183円

注： 当社は、2025年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。
右記の1株当たり配当額の推移は、2021年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、中間配当・期末配当額を表示しております。



Copyright© NISHIKAWA RUBBER CO.,LTD. All Right Reserved.

4

2030年 グローバル中長期経営計画への取り組み



Copyright NISHIKAWA RUBBER CO.,LTD. All Right Reserved.

中長期経営計画 追補版の概要

資本コストを低下させ、ROEおよびROICの確実な達成を狙う目的から、KGIとして最適な自己資本比率を55%と定め2031年3月期までの達成を目指す

KGI(連結) 重要目標達成指標	2025年3月期 実績	2026年3月期 実績	2027年3月期 予想	2028年3月期 中期目標	2031年3月期 長期目標
売上高（百万円）	120,639	122,138	118,000	125,000	130,000
営業利益（百万円）	7,324	9,052	6,500	10,000	13,000
営業利益率	6.1%	7.4%	5.5%	8.0%	10.0%
ROE	4.6%	12.5%	ー	8.0%	9.0%
ROIC	4.7%	5.5%	ー	7.0%	8.0%
自己資本比率	63.5%	59.6%	ー	60.0%	55.0%

Copyright© NISHIKAWA RUBBER CO.,LTD. All Right Reserved.

中長期経営計画の進捗と今後の成長フェーズへの移行

北米事業の構造改革による収益性改善や株主還元の強化等を通じ、資本効率の改善を進める。今後は、足元の事業環境の変化への対応と更なる収益力の強化を図りながら、成長戦略の具体化・実行を進める

中計策定時	これまでの進捗	今後の重点課題
北米構造改革・低資本効率への対応	収益改善・株主還元強化が進展	成長戦略・資金使途の具体化

現中計で具体化されている主要施策

1 収益性改善



主な内容

- 北米メキシコ黒字化
- 全セグメントで原価低減を継続

KGI・指標	25/3実績	26/3実績	31/3目標
売上高	1,206億円	1,221億円	1,300億円
営業利益	73億円	90億円	130億円
営業利益率	6.1%	7.4%	10.0%

構造改革等による利益率改善の進捗

2 資本効率改善



主な内容

- 最適自己資本比率55%を目指す
- DOE8%程度の配当を実施
- 自己株式取得を推進
- 政策保有株式の売却を推進

KGI・指標	25/3実績	26/3実績	31/3目標
ROE	4.6%	12.5%	9.0%
ROIC	4.7%	5.5%	8.0%
自己資本比率	63.5%	59.6%	55.0%

株主還元・B/S最適化により資本効率改善を図る

成長戦略の具体化・実行

足元で具体化している成長施策

- E^square®の展開 ▶ P37
- 欧州戦略推進 ▶ P38
- リサイクル製品の上市

＋

成長戦略投資の活用

投資領域
- 事業 / 地域 / プロダクト 等
- 既存市場 / 新規市場 等

期待リターン
- 売上成長・利益貢献の道筋
- ROIC / ROE目標との整合性

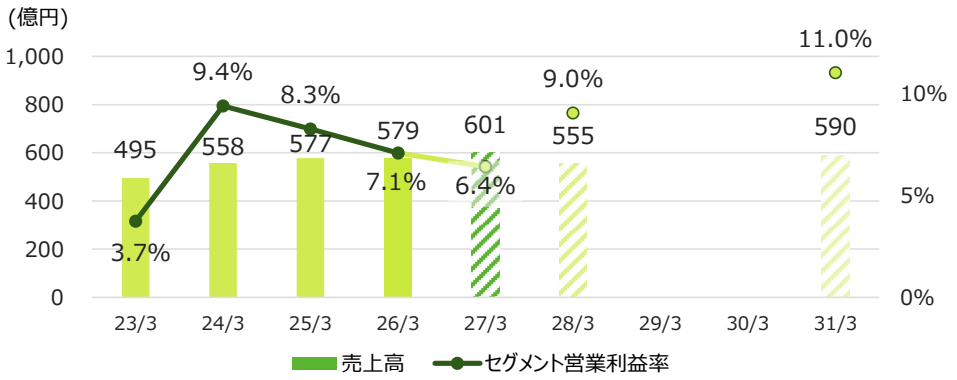
「改善」から「成長」への移行を図る

Copyright© NISHIKAWA RUBBER CO.,LTD. All Right Reserved.

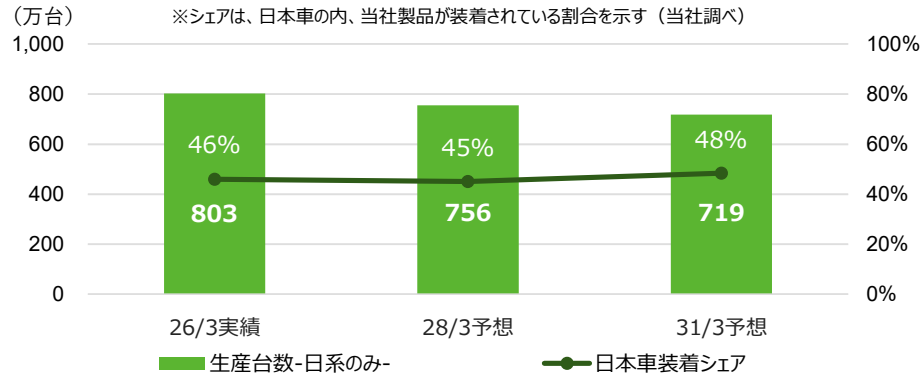
セグメント別事業戦略 | 日本

新技術を投入し、収益力向上、シェア向上を実現する

日本セグメント　売上高･営業利益率



日本セグメント　シェア率※



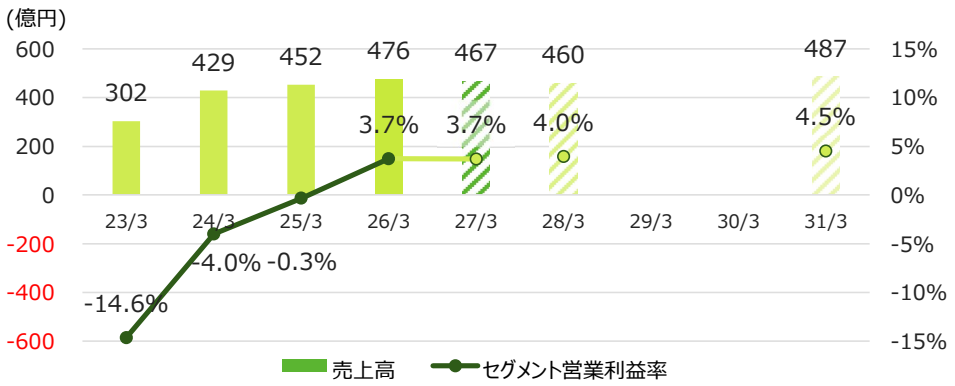
主な戦略	財務効果	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年
E Square® ブランド戦略	売上拡大 シェア向上	国内外OEMプレゼン実施 海外拠点への技術移転		E Square® 製品の採用	E Square® 製品の量産			
生成AIを活用した製品/金型設計、材料開発等の加速	製造間接費低減	生成AI 環境構築	技術伝承ナレッジ 運用開始	製品/金型設計、材料開発等の領域へ運用拡大				
マテリアルリサイクル技術	非財務 ESG推進	リサイクル 技術確立	再生材の量産品適用に 向けた検証	再生材の量産品適用／適用製品の拡大				
最新生産システム導入	成長投資	新工場の構想検討						新工場着工
		高速押出設備の導入		高効率生産設備の拡大／ロボットによる省人化				

Copyright© NISHIKAWA RUBBER CO.,LTD. All Right Reserved.

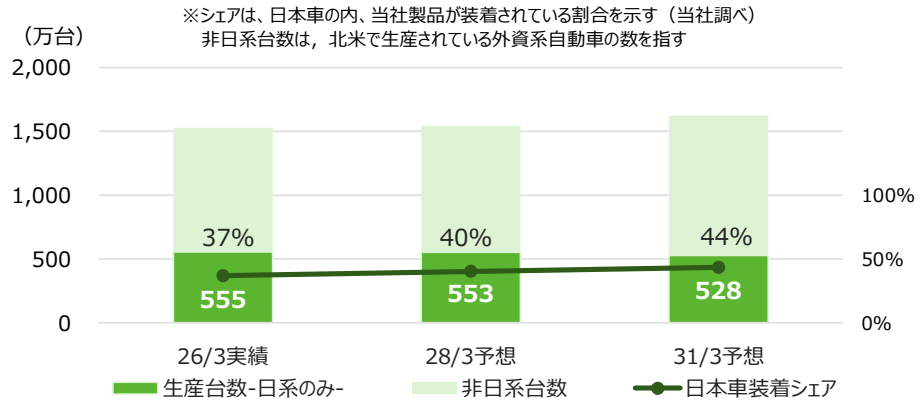
セグメント別事業戦略 | 北米（アメリカ・メキシコ）

拠点間相互支援による原価改善の継続、ガバナンス改善により収益安定化を図る

北米セグメント　売上高・営業利益率



北米セグメント　シェア率※



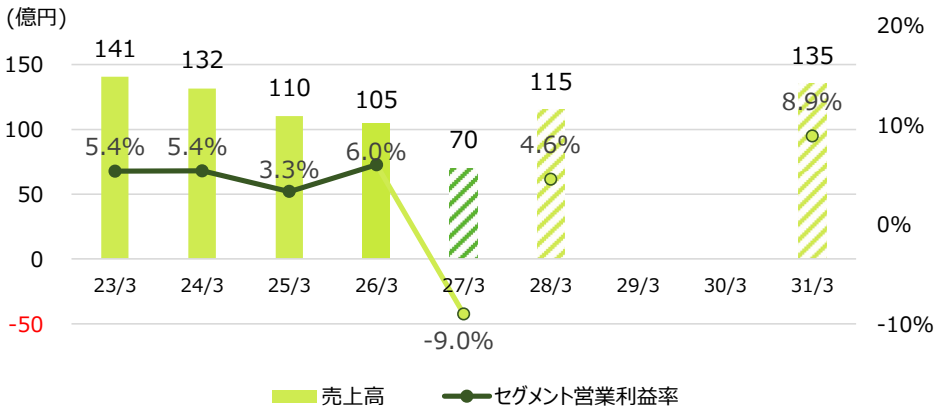
主な戦略	財務効果	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年
設備保全戦略 （生産体制の再構築と設備更新）	成長投資 製造原価低減	アメリカ新工場が安定し、生産性向上		老朽設備の更新、省エネ設備、高生産効率設備の導入推進				
人的資源戦略 （グループ会社支援による 生産体制の改善等）	製造オペレーション改善による製造原価低減	マネジメント人材の採用	本社およびグループ会社による相互支援、教育					
全社的リスク、危機に対する体制強化の為、ERM（リスクマネジメントの仕組）を構築	非財務 ガバナンス向上	ERM関連規定の整備完了	ERM試験運用	ERM本格運用	ERM運用定着			

Copyright© NISHIKAWA RUBBER CO.,LTD. All Right Reserved.

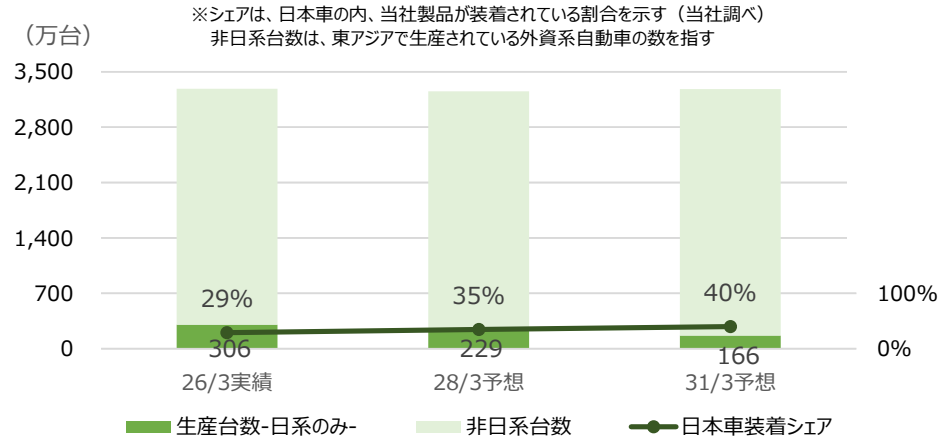
セグメント別事業戦略 | 東アジア（中国）

新工場を活用したコスト競争力強化、欧州自動車メーカー受注拡大

東アジアセグメント　売上高･営業利益率



東アジアセグメント　シェア率※



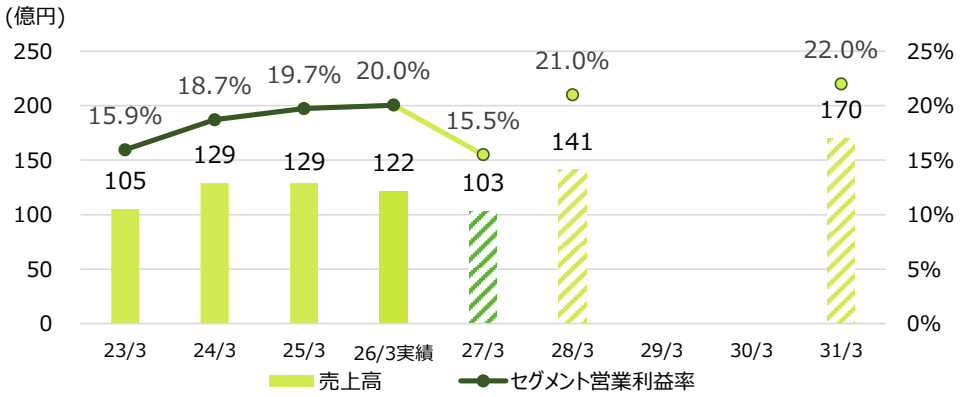
主な戦略	財務効果	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年
中国内陸部に新工場建設	製造原価低減	工場建設完了	工程整備	25年9月～稼働開始				
欧州自動車メーカーへの輸出販売	売上拡大	継続的に受注活動						
			新規受注		量産開始予定			

Copyright© NISHIKAWA RUBBER CO.,LTD. All Right Reserved.

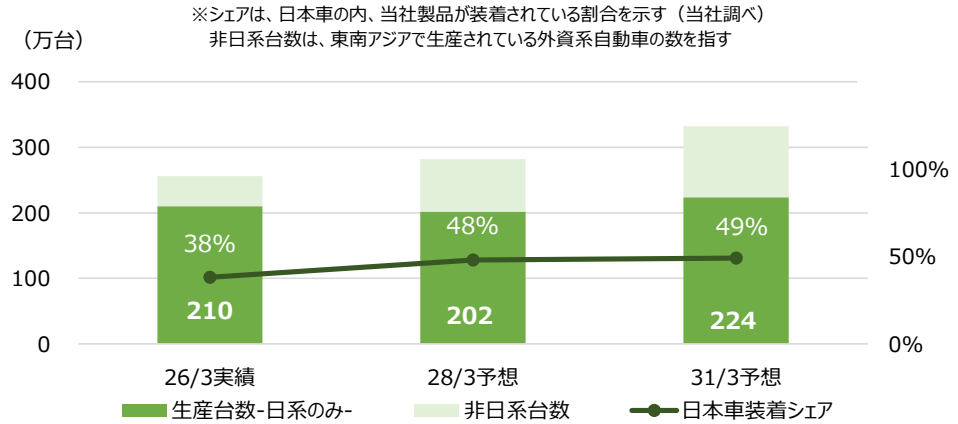
セグメント別事業戦略 | 東南アジア（タイ・インドネシア）

インドネシア拠点の内製化比率向上による安定収益確保と新規受注拡大

東南アジアセグメント　売上高・営業利益率



東南アジアセグメント　シェア率※



主な戦略	財務効果	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年
日系以外の新規受注	売上拡大	継続的に受注活動						
樹脂製品の押出生産設備をタイ子会社からインドネシア子会社へ移設	製造原価低減	設備移設完了	工程整備	26年1月～稼働開始				

Copyright© NISHIKAWA RUBBER CO.,LTD. All Right Reserved.

資本政策

過剰な株主資本を圧縮するとともに、滞留している現預金を成長投資に振り分け、ROE9%の達成を確実なものとする

目指す資本構成	✓ 最適な自己資本比率を**55%**と定め**2031年3月期までに**達成し、**ROE9%**を実現する
成長に向けた投資の方針	✓ 滞留している現預金と政策保有株式の売却によって得た資金を原資に約**640億円**を中長期経営目標の達成に向けた工場建設・設備投資・研究開発・環境投資・人的資本投資等に振り向ける ✓ 将来的にM＆Aが必要になった場合は、有利子負債の活用も検討する
政策保有株式の売却	✓ **2028年3月期までに100億円**規模の政策保有株式の売却を進める
株主還元方針	✓ **2025年3月期から**株主資本配当率（**DOE**）を年間**8%程度**とする ✓ 自己株式取得を**6年間で6%**実施する（発行済株式総数の6%）

Copyright© NISHIKAWA RUBBER CO.,LTD. All Right Reserved.

資本政策｜中計期間におけるキャッシュアロケーション

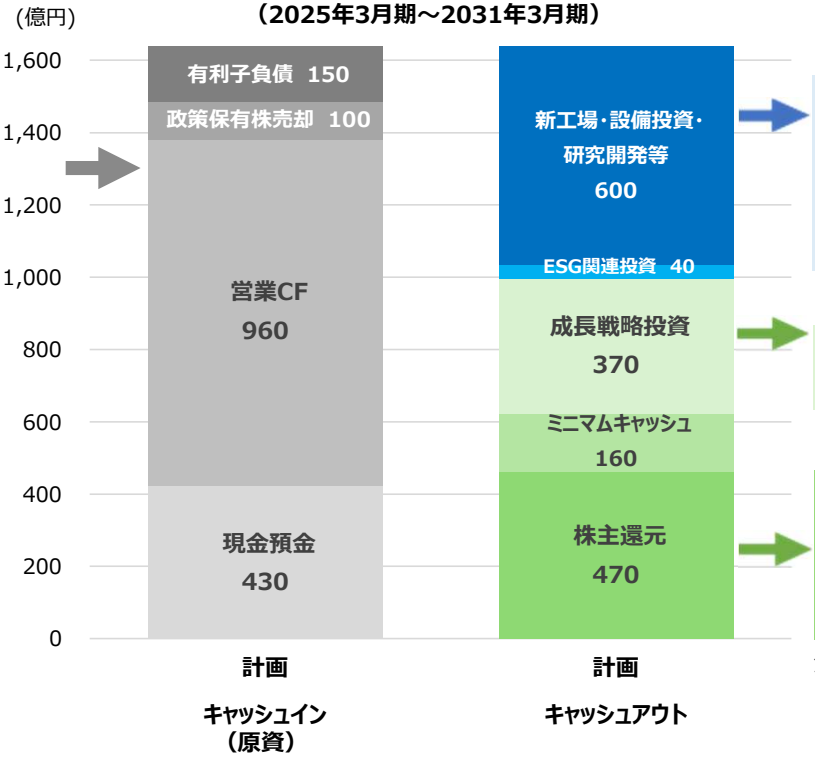
収益改善・資本効率化によりキャッシュ創出は着実に進展
今後は成長戦略の具体化とともに、成長戦略投資の本格化に取り組む

主なキャッシュイン 2027年3月期中間期までの累計実績

- 有利子負債調達 **80**億円
- 政策保有株式売却 **49**億円
- 営業キャッシュフロー **245**億円

合　計 **374**億円

キャッシュアロケーション
（2025年3月期～2031年3月期）



成長に向けた投資 2027年3月期中間期までの累計実績

- 開発設備投資等 **103**億円
- ESG関連投資 **5**億円

合　計 **108**億円

成長戦略投資

探索開始フェーズ中

株主還元 2027年3月期中間期までの累計実績

- 配当 **111**億円
- 自己株式取得 **74**億円（発行済株式総数の6%相当）

合　計 **185**億円

注：配当は、配当基準日ではなく、実際の支払時点に基づき記載しています。

Copyright© NISHIKAWA RUBBER CO.,LTD. All Right Reserved.

資本政策｜株主還元方針

最適な自己資本比率を55%と定め、ROE9%を目指す

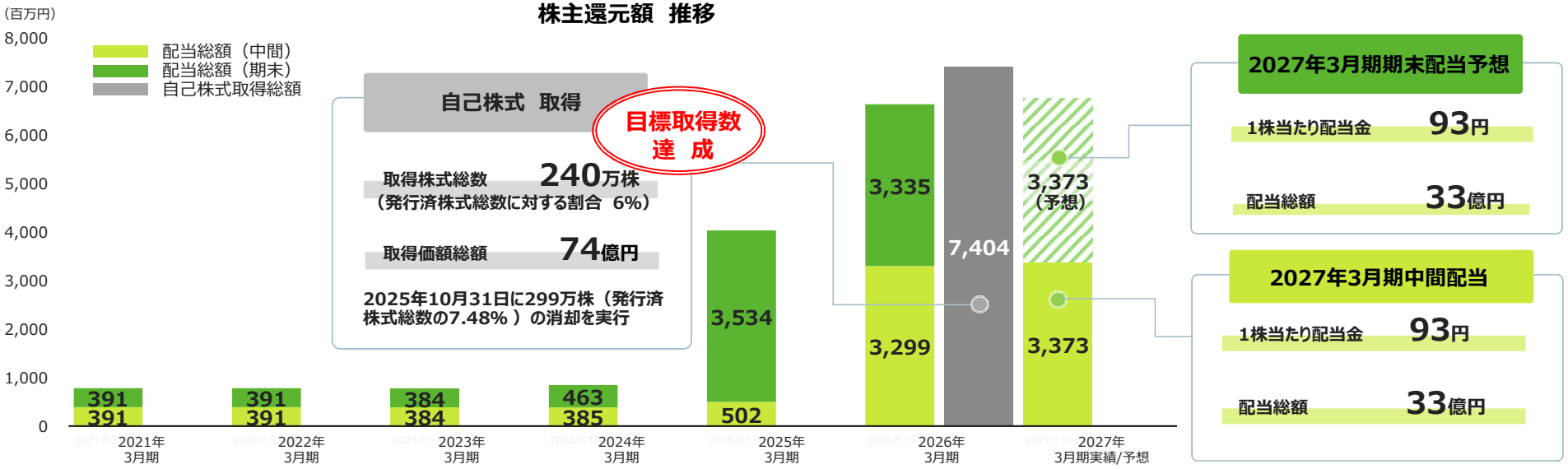
配当方針　連結の株主資本配当率（DOE）を年間8%程度とする

実施状況　上記方針に沿った配当実施（2027年3月期　中間配当93円/株）

自己株式取得　2026年3月期から6年間で発行済株式総数の6%相当取得する

実施状況　2025年9月に発行済株式総数の6%相当（240万株）取得完了

株主還元額　推移



Copyright© NISHIKAWA RUBBER CO.,LTD. All Right Reserved.

ガバナンスの高度化

監督・執行体制と取締役会の実効性を高め、今後は経営人材の育成を軸に戦略実行力を強化する

	～ 2025年度			2026年度	今後の取り組み
1 監督・執行体制の再構築	**取締役会の構成の見直し前** 取締役 **12**名 独立社外取締役比率 **25%**	**取締役会の監督機能を強化** 取締役 **8**名 独立社外取締役比率 **50%**	**経営執行会議を新設** 取締役会の業務執行機能の一部を委譲	**新体制の運用・定着** 取締役会の活発化 戦略的議論・モニタリングに重点化	**経営人材・執行力の強化** ・執行サイドの人材戦略を強化 ・次世代経営人材の継続的な育成
2 取締役会の実効性向上	**実効性評価の高度化** アンケートに加え、全取締役への個別インタビュー、ピアレビュー、外部評価を実施	**あるべき取締役会像を明確化** **「未来志向」と「コミットメント」** 方向性提示・健全なリスクテイク・建設的モニタリング	**重要課題を特定し具体策を実行** 重要課題について対応方針を具体化し、2026年6月時点で対応を完了 ① 監督と執行のバランス ② 取締役会運営 ③ 取締役会構成 ④ 監査等委員会・選任協議会の機能		**ガバナンスの継続的な高度化** ・実効性評価を起点としたPDCAの継続 ・取締役会における戦略的な議論・モニタリング機能の充実化
3 経営人材・サクセッションの具体化	**あるべき経営人材像を明確化** 経営幹部・社長候補者に求める経験・スキル・能力・資質・人柄を整理	**候補者評価・育成を試行** 候補者に外部アセスメントを実施し、個別の育成方針を策定	**経営幹部サクセッションプランの策定** 候補者の選定・育成を継続的に行う仕組みを構築 選任協議会で定期的に審議・報告		**人的資本経営の推進** ・中長期経営計画の実現に必要な重要強化人材の特定と育成

Copyright© NISHIKAWA RUBBER CO.,LTD. All Right Reserved.

人的資本経営の推進｜重点強化人材

中長期経営計画の実現に向け、企業価値向上を支える重点強化人材を特定。
今後は、各重点強化人材に求める「質」と将来必要となる「量」を具体化し、人材戦略を策定する

中長期経営計画（2030年）



売上高	1,300億円
営業利益	130億円
ROE	9%

グローバルニッチトップ企業を目指す

重点戦略	重点強化人材
次世代経営を担う組織力強化	次世代経営幹部人材
グローバル事業拡大	グローバルマネジメント人材（現地マネジメント層含む）
グローバルガバナンスおよび内部統制の高度化	内部統制/管理部門専門人材
EV化/軽量化/静音化製品開発強化	材料/設計/開発技術者
高付加価値製品および新規事業の創出	事業開発/マーケティング人材
生産技術革新/自働化/DXでの競争力強化	生産技術/DX/AI活用人材

Copyright© NISHIKAWA RUBBER CO.,LTD. All Right Reserved.

サステナブル経営の推進｜非財務目標

社会や環境の変化に対応しながら、未来に向けて以下ESGの取り組みを推進

	重要課題（マテリアリティ）	主な取り組み	指標および管理項目	2025年度実績	2027年度目標	2030年度目標
E	脱炭素企業への挑戦	省エネ活動、再エネ購入 太陽光発電導入 低排出量燃料への置換	グローバル: CO2排出量削減率 Scope1+2(2019年度比)	33%削減	34%削減	35%削減
			国内: CO2排出量削減率 Scope1+2(2013年度比)	39%削減	38%削減	46%削減
	産業廃棄物発生量の最小化	マテリアルリサイクル 軽量化製品の拡販 歩留改善など	グローバル: 産業廃棄物発生量 削減率	63%削減	63%削減	67%削減
			国内: 産業廃棄物発生量 削減率	43%削減	46%削減	55%削減
S	ダイバーシティの推進	ダイバーシティ、 エクイティ&インクルージョン	単体:女性管理職比率 単体:障がい者雇用率	3.6% 2.5%	7.0% 法定雇用率を上回る雇用	15.0%
	人権尊重	サプライチェーン全体の 人権DD推進	グローバル:児童労働・ 強制労働・人身売買、不正件数	0件	0件	0件
	働き方改革	健康経営 職場環境改善 キャリア開発	単体: ワーク・エンゲイジメントスコア （当社基準）	67.7%	68%以上	69%以上
G	コンプライアンスの徹底	コンプライアンス研修 法令改正通信配信 理解度テスト	グローバル: 汚職防止、競争法、取適法、 知財法等の違反件数、不正件数	0件	0件	0件
	内部統制の強化と 適切な情報発信	組織の再構築 ルール整備 適切な情報開示	グローバル: サステナビリティ評価外部 機関 EcoVadis 評価スコア	72点	75点以上	78点以上
	リスクマネジメントの 強化	ERM、危機管理規定整備 サイバーセキュリティの強化	単体:関連規定類の整備 グローバル: 重大インシデント件数	整備完了 0件	0件	0件

Copyright© NISHIKAWA RUBBER CO.,LTD. All Right Reserved.

ESquare®の展開

軽量化・静音性能向上・環境負荷低減の同時実現を目指し、競合との差別化を図った統合ブランド「ESquare®」を誕生させ、市場シェア拡大と持続可能な成長を追求

E for Electric Vehicle
競合自動車部品メーカーとの差別化

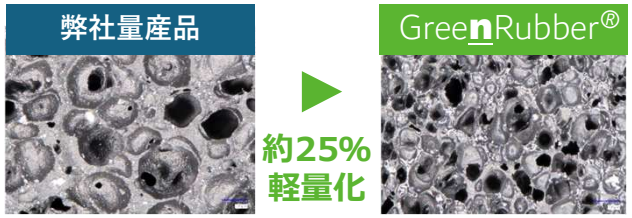
統合ブランド
ESquare®

E for Environment
カーボンニュートラルの推進

各開発材で特許取得

GreennRubber®

ゴム材料を限界まで比重低減し、
弊社従来製品より最大約25%軽量化



⇒新材料4種類を開発

GreennCoat®

シール部品のコーティング塗料に適用
高耐久・異音防音、室内快適性を維持向上

音性能 圧縮荷重 圧縮永久歪	**弊社量産品と同等** **音性能は形状や塗料でも性能向上※**

⇒新材料3種類を開発

順次
新製品技術を展開予定

「ESquare®」をベースに、発泡・軽量化・複合化などの技術開発を推進

※当社調査に基づく。

Copyright© NISHIKAWA RUBBER CO.,LTD. All Right Reserved.

欧州戦略推進｜ドイツ支店の設立

名　称	NISHIKAWA RUBBER CO., LTD. GERMANY BRANCH
所 在 地	ドイツ連邦共和国　ミュンヘン
目　的	欧州主要自動車メーカーの集積地にて顧客ニーズに迅速に対応できる提案活動体制を構築する
事業内容	自動車用部品等の輸出入、販売およびこれらに付随する業務





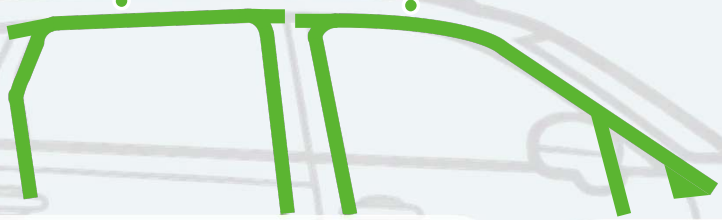
2026年11月2日
ドイツ支店開所式の様子

Copyright© NISHIKAWA RUBBER CO.,LTD. All Right Reserved.

高付加価値製品｜グラスランチャンネル　新タイプ

機能性とデザイン性を両立し、窓まわりをよりスマートに





グラスランチャンネルとは

自動車のドアガラスの周囲に取り付けられ、ガラスの昇降を支えながら、車外からの水や音などの侵入を抑える役割を担う製品

特徴①複数機能をグラスランチャンネルに一体化

従来、別部品が担うシール機能とサッシュモールが持つ窓枠のデザイン性を高める機能をグラスランチャンネルへ集約。
部品点数を抑え、シンプルな構造を実現。



特徴②すっきりとした外観と組付けやすさを両立

構造を変えたことで窓枠の幅を細くすることが可能となり、スマートな窓まわりを実現。 あわせて、車両製造時におけるドアパネルへのグラスランチャンネルの組付け作業性も向上。

Copyright© NISHIKAWA RUBBER CO.,LTD. All Right Reserved.

TOPIX新規採用・東証アンケート1位

①2026年TOPIX（東証株価指数）見直しに伴う当社銘柄の採用

当社株式がTOPIXの構成銘柄として新規採用

詳細については2026年10月7日付 下記ページからご覧いただけます。
https://www.jpx.co.jp/news/6030/20261007-01.html

②東証「取組みの進展が見られる企業」 スタンダード部門1位

2026年8月12日に東京証券取引所が公表した『「取組みの進展が見られる企業」等に関する機関投資家アンケートの結果について』において、スタンダード部門で1位を獲得


投資家が取組みの進展を評価している企業一覧 ⑥

スタンダード

◆ スタンダード

コード	会社名	業種	票数
5161	西川ゴム工業	ゴム製品	3

詳細については2026年8月12日付 下記ページからご覧いただけます。
https://www.jpx.co.jp/corporate/news/news-releases/1020/20260812-01.html

Copyright© NISHIKAWA RUBBER CO.,LTD. All Right Reserved.

5

Appendix



Copyright NISHIKAWA RUBBER CO.,LTD. All Right Reserved.

Appendix｜連結業績の四半期推移

（単位：百万円）	2025年3月期 1Q	2Q	3Q	4Q	2026年3月期 1Q	2Q	3Q	4Q	2027年3月期 1Q	**2Q**
売上高	30,164	31,052	25,194	34,229	28,943	28,406	30,831	33,958	30,098	**31,731**
前年同期比	*+10.5%*	*+4.1%*	*-23.2%*	*+22.5%*	*-4.0%*	*-8.5%*	*+22.4%*	*-0.8%*	*+4.0%*	***+11.7%***
営業利益	2,113	1,989	1,273	1,949	1,758	2,221	2,542	2,531	2,197	**1,849**
前年同期比	*+140.9%*	*+280.3%*	*-55.6%*	*-14.8%*	*-16.8%*	*+11.7%*	*+99.7%*	*+29.9%*	*+25.0%*	***-16.7%***
営業利益率	7.0%	6.4%	5.1%	5.7%	6.1%	7.8%	8.2%	7.5%	7.3%	**5.8%**
経常利益	3,035	706	1,941	1,935	2,058	2,678	3,854	2,599	2,850	**2,061**
親会社株主に帰属する当期純利益	1,839	251	765	1,102	1,460	2,829	1,817	4,854	1,937	**1,289**

注： 各四半期の業績は、年度累計実績の差額から算出しています。海外セグメントについては、為替換算レートの変動により、四半期単独の数値が現地通貨ベースの業績動向と異なる場合があります。

Copyright© NISHIKAWA RUBBER CO.,LTD. All Right Reserved.

Appendix｜地域別セグメント業績の四半期推移

		2025年3月期				2026年3月期				2027年3月期	
（単位：百万円）		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	**2Q**
日本	売上高	13,473	14,188	14,933	15,116	13,836	13,739	15,056	15,232	14,255	**14,980**
	前年同期比	*+3.1%*	*-0.9%*	*-1.4%*	*+14.2%*	*+2.7%*	*-3.2%*	*+0.8%*	*+0.8%*	*+3.0%*	***+9.0%***
	セグメント利益	951	1,124	1,359	1,333	501	1,103	1,218	1,273	747	**909**
	利益率	7.1%	7.9%	9.1%	8.8%	3.6%	8.0%	8.1%	8.4%	5.2%	**6.1%**
北米	売上高	12,128	12,507	6,517	14,087	11,438	11,119	11,508	13,581	12,252	**13,729**
	前年同期比	*+27.7%*	*+13.0%*	*-47.5%*	*+41.8%*	*-5.7%*	*-11.1%*	*+76.6%*	*-3.6%*	*+7.1%*	***+23.5%***
	セグメント利益	519	278	-752	-190	612	389	433	346	850	**707**
	利益率	4.3%	2.2%	-11.5%	-1.3%	5.4%	3.5%	3.8%	2.5%	6.9%	**5.2%**
東アジア	売上高	2,685	2,784	2,051	3,505	2,155	2,204	2,920	3,190	2,125	**2,192**
	前年同期比	*-6.9%*	*-12.7%*	*-43.3%*	*+1.2%*	*-19.7%*	*-20.8%*	*+42.4%*	*-9.0%*	*-1.4%*	***-0.5%***
	セグメント利益	62	8	-15	310	68	110	254	195	12	**-123**
	利益率	2.3%	0.3%	-0.7%	8.8%	3.2%	5.0%	8.7%	6.1%	0.6%	**-5.6%**
東南アジア	売上高	3,264	3,085	3,224	3,303	2,821	2,911	3,023	3,429	2,806	**2,600**
	前年同期比	*+1.7%*	*-2.3%*	*-8.1%*	*+9.4%*	*-13.6%*	*-5.6%*	*-6.2%*	*+3.8%*	*-0.5%*	***-10.7%***
	セグメント利益	606	584	698	654	537	633	595	667	546	**358**
	利益率	18.6%	18.9%	21.7%	19.8%	19.0%	21.7%	19.7%	19.5%	19.5%	**13.8%**
参考	USD/JPY（円）	151.41	161.07	142.73	158.18	149.52	144.81	148.88	156.56	159.88	**162.39**

注： 為替レートは、海外連結子会社との決算期のずれ（3ヵ月）を考慮し、各四半期末の３か月前の月末レートを記載しています。
また各四半期の業績は、年度累計実績の差額から算出しています。海外セグメントについては、為替換算レートの変動により、四半期単独の数値が現地通貨ベースの業績動向と異なる場合があります。

Copyright© NISHIKAWA RUBBER CO.,LTD. All Right Reserved.

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、実際の結果と異なる可能性があることにご留意ください。
また、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。

問合せ先責任者

専務取締役
山本 秀至

IR窓口

管理本部長
山本 隆司
082-237-9371

Copyright© NISHIKAWA RUBBER CO.,LTD. All Right Reserved.